

全国に広がる 思春期研究会

⑦九州思春期研究会

「思春期の問題は出口」を共通認識に

九州思春期研究会は本郷地区に誕生しました。

紙第六一〇号(平成十七年一月号)で当研究会代

☆設立の経緯

表理事・松浦賢長が報告しましたように、「思春期の問題は出口である」を共通認識とし「入り口から」支援の実践を第一の目的とし、思春期保健の携わる専門家や関心のある方々による連携と実践を台言葉に九州・沖縄

者を見てこれられ、尚且つ

思春期保健相談士認定セミナーの常任講師として

専門職の方々の指導をされてこられた森先生なら

ではの広い視野でのご助

言があり、「九州思春期研究会」は発足しました。

☆活動状況

活動としては、年一回の研究大会とそれに伴うプレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

の研究大会とそれに伴うプレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト

プレコンgres・ポスト



昨年には第5回大会を開催

＜九州思春期研究会＞

設立 2004年8月
会長 森 崇 (北九州津屋崎病院副院長)
副会長 小林益江 (日本赤十字九州国際看護大学教授)
理事 代表理事 松浦賢長 (福岡県立大学看護学部教授) 以下5名
幹事 10名
会員数 約200名
連絡先 〒824-0031 福岡県行橋市西宮市5-1-10 内田産婦人科医院内 九州思春期研究会事務局 内田美智子 ☎0930-25-1416 ☎0930-25-1331 HPアドレス <http://www.kyusiken.net>

- ▽平成十六年八月 研究会設立
- ▽平成十六年十一月 プレコンgresミーティング、北九州津屋崎病院青春期病棟親子カンファレンスへ参加
- ▽平成十七年二月 第一回研究会設立研究大会、松本清一先生「出産様式の変化と子育ての関係」、森崇先生「乳幼児期の親子関係から見えてくる思春期の子ども達」、松浦賢長先生「さよなら、マソネリ性教育 新しい時代に新しい性教育を」
- ▽平成十七年三月 第一回研究大会ポストコンgres、小集団性教育
- ▽平成十八年二月 第二回研究大会プレコンgres、親子カンファレンス、参加/第二回研究大会、宮崎親先生(研究会理事)
- 「大人として伝えるべきもの」、パネルディスカッション「関係機関と上手に付き合うためには」
- ▽平成十八年三月 第二回研究大会ポストコンgres、in鹿児島、森崇先生「子育てはやり直せるか」、服部祥子先生「子どもはどのように育つか」
- ▽平成十八年十一月 第三回研究大会プレコンgres、親子カンファレンス、参加/第三回研究大会、鯨岡峻先生(京都市立大学大学院教授)「思春期問題を理解するための枠組みを考える」
- ▽平成十九年二月 第三回研究大会ポストコンgres、in長崎、森崇先生(研究会会長)「青春期内科から見た父親のあり方」、シンポジウム「お父さん出番です!」
- ▽平成十九年十月 第四回研究大会プレコンgres、親子カンファレンス、参加/第四回研究大会「思春期と乳幼児期」、滝井宏隆先生(滝井医院院長)「肝腎要なお話」、内田美智子(研究会事務局)
- 「思春期を乗り越える力になるもの」、白川嘉継先生(新水巻病院周産期センター長)「乳幼児期の環境が思春期に及ぼす影響」
- ▽平成二十年三月 第四回研究大会ポストコンgres、in福岡、佐藤弘氏(西日本新聞社)「食卓の向こう側に見えるもの」、納富貴先生(納富医院院長)「男子の性」
- ▽平成二十年十一月 第五回研究大会プレコンgres、親子カンファレンス、参加/第五回研究大会、内山絢子先生(目白大学教授)「最近の非行の特徴と家族の役割」、安川雅史先生(全国webカウンセリング協議会理事長)「学校裏サイトと家族」
- ▽平成二十一年三月 第五回研究大会ポストコンgres、in佐賀の予定です

☆今後の予定

今後は九州思春期研究会として九州各地で、その地域で抱える問題を解決できるための方策を地域ごとに構築できる組織やネットワークを築いていけるように、支援や各地でのセミナーを行っていきたくと思っています。

(九州思春期研究会事務局 内田美智子)